

ピーアークコーポレートブック Fun for Life

VOL.
19



P-KUN
CAFE



特集

北千住からハッピーはじまる!!

Fun make. 共感と熱狂でファンを幸せに!

株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役社長

代表取締役社長

井手 直行 氏 × 庄司 眞 氏



Top Message

お客様の期待に一意専心

日本経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用環境が改善し、穏やかな回復基調が続きましたが、公益財団法人日本生産性本部「レジャー白書2017」によると、パチンコ業界の平成28年の市場規模は21兆6260億円(前年比6・9%減)、参加人口は940万人(同12・1%減)、警察庁の発表では平成29年12月末時点での営業所数は1万596軒(同390軒減)となりました。これは、パチンコにおける高射幸性遊技機の撤去、スロットにおける旧基準遊技機の設置比率規制、また依存症対策など社会的要請への対応による影響などが考えられますが、そんな状況であるからこそ、ピーアークの企業理念「お客様の期待価値創造」に向けた新たな営業戦略が必然だと判断しております。時間消費型から進化した、顧客満足の深化でFunバリューを広げる「繋がる営業」は、新たな展開を予想させます。また、コミュニティルームを通じて広がった様々な繋がりが



がドメインの再設定を促し、パチンコをしないピーアークファンとの繋がりが、目指すべき新大陸として目前にあります。

このような環境の中、第10次中期経営計画の3年目として、『make new PARK』お客様への期待に「専心」を経営方針に掲げ邁進いたします。

また、この4月からテレビコマercial「タッチで、ハッピー!!」をスタートしました。ここには、パチンコという業態を通じて、また様々な企業活動を通じて広がる人との繋がりが、新しいハッピーを生み出している姿を表現しました。私たちが提案するたくさんさんのFun商品を体感(タッチ)していただくことで、スタッフとお客様、そしてお客様同士の楽しい(ハイタッチの)輪が広がる、そんな想いを込めました。今期も「Fun for Life」のピーアークにどうぞご期待ください。

ピーアークホールディングス株式会社
代表取締役会長 庄司正英

はじまる!!

P-KUN CAFE

パチンコ
スロット

ビックリヤパート2



P-KUN CAFE 2017.12.13 OPEN!

足立区最大のターミナル駅で東武スカイツリーラインをはじめとする4社5路線が乗り入れ、近年は大型商業施設や大学などが新設される注目の北千住駅。その東口目の前に2017年12月13日(水)P-KUN CAFE(ピーくんカフェ)をオープンいたしました。ピーくんカフェはカフェスペースとコミュニティスペースを兼ね備え、パチンコはもちろん、様々な企業活動を通じてたくさんの人々と出会い、繋がることで新しいハッピーを生み出してきた私たちが、地域の方々とさらなるハッピーを共創し、世の中を楽しくしていく起点として、新たなチャレンジの場所でもあります。ピーアーク北千住、ビックリヤPart2とともに、北千住から新たなハッピーを皆さまにお届けしてまいります。

北千住から

ハッピー

ビックリカパート2

パチンコ
スロット

CONTENTS

ハッピー④



Fun for Lifeを求めて
BU^oY(P20)

ハッピー③



ピーくんの楽縁祭(P18)

ハッピー②



FunRoom (P8)

ハッピー①



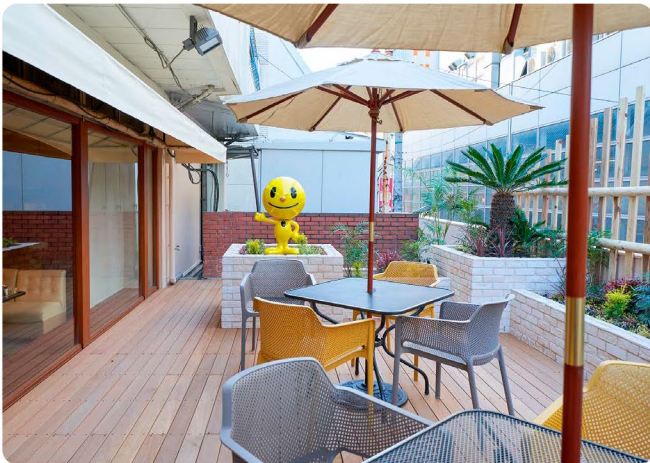
P-KUN CAFE (P6)



P-KUN
CAFE

EAT & FUN

“美味しい”と“楽しい”に
出会えるカフェ



ピーくんカフェがオープ
ンして約半年。モーニ
ングの時間はゆったりと、午
後はのんびりカフェタイム、
夕方からはバーとしても機能
し、様々な年齢層の方にご愛
用いただいています。ゆった
りくつろげる客席の作りはも
ちろん、完全分煙やテラス席
など、機能も充実させ、食事
を楽しむ空間作りにもこだわ
りました。

食事の美味しさはもちろん
ですが、一番の魅力、それは
ピーくんカフェを訪れること
が新しい人や楽しさと出会う
機会となり、さらなるFun
が生まれることだと私たちは
考えています。地域の様々な情
報にふれたり、Fun Room
で日々行われているプログラ
ムにタッチしたり。ぜひ皆さ
んも美味しい食事と楽しいコ
ンテンツを体感してみてください
さい。

ピーくんカフェのメニューとこだわり

自慢のコーヒー



トアルコトラジャブレンドコーヒー 350円

アラビカ種の中で最高峰と言われ、独特で芳醇な香りや豊かな甘みが特徴のトラジャコーヒーを採用。本来の美味しさをお届けするため1杯ずつ丁寧に淹れています。

メニューも充実

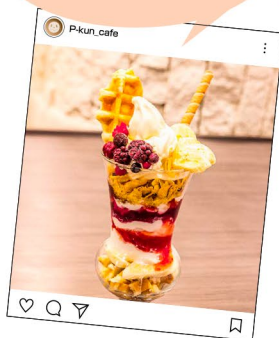


★ Morning ★

一日のはじまりは、パンが選べるモーニングセットでゆったり。シュガートーストやクロワッサン、フォカッチャも選べます。

インスタ映え!?

ジャンボワッフル千住パフェ
サイズにビックリ!
みんなでシェアして食べてね♪



ピーくんのイチオシメニュー、
ピーくんカフェラテ。
顔を崩すのがもったいない!

★ Lunch ★

パスタやプレート、ドリア、キッズメニューもあります。
人気ナンバー1は千住ナポリタン!



★ Alcohol ★

定番アルコールはもちろん、クラフトビールやカクテルも豊富。一人でも、みんなでワイワイでも、一日の最後に素敵な時間をお過ごしください。パーティー利用もお気軽にご相談ください



※メニューは変更する場合がございます。

カウンター前のワクワク♪



レジ前の大きなボックス棚では、
いろんな楽しさを日々提案中! 新
しいFunを見つけてみてね♪

アクセス

住所：東京都足立区千住旭町3-5
(北千住駅東口エスカレーター降りてすぐ!)
営業時間：8:00 ~ 22:00
席数：150席(分煙)、テラス席あり
その他：
駐車場なし、Wi-Fiあり、ワクワクあり!
Tel：03-5284-8200



ピーくんカフェ



毎日楽しくするアプリ「FUN LIFE CLUB」



ポイントを貯める

イベント情報

Funサポート

などなど

P-KUN CAFEでのひとときをもっと楽しくするアプリ
登録無料! ぜひご利用ください。
(今なら、アプリ初回ダウンロードで30ポイントプレゼント)
※2018年6月現在

ファンライフクラブ

FunRoom

繋がる・広がる・深まる

Funの集まるプラットフォーム



FunRoomが目指すもの

ピーアークは「私たちの仕事は、世の中を楽しくすること。」のビジョンの下、様々な企業活動を行っています。「地域のFunを育てる」「コミュニティルーム」もそのひとつ。私たちの想いに共感し、「Fun」を楽しむとともに育ててくださる皆さまとともに、これまでたくさんの方々の地域に生み出してきました。そしてこの度、4つ目のコミュニティルーム「FunRoom 北千住」が誕生しました。カフェ機能と融合することで、より幅広い年齢・趣味嗜好・時間の過ごし方をされる方々との接点が生まれ、新しいFunが多くの繋がりが、広がり・深まりをもたらすことでしょう。FunRoomでは、日々様々なコンテンツを提案しています。「FunRoomに行けば、新たなFunに出会える」そう思っていただけの場所を、そして同じ想いをもつ方々と、さらなるFunを生み出す新たなステージに成長していくことを目指しています。

FunRoomってなに!?

皆さまと“楽しい”を生み出す場所。

初めての挑戦、新たな出会い、繋がりにふれて、「楽しい」をさらに楽しく!

使いたい!
開催したい!

皆さまの得意技を活かして、ワークショップを開催したり、仲間とのパーティーなど特別な時間を過ごしたり。FunRoomの趣旨に合う用途であればどなたでもご利用いただけます(利用にはFUN LIFE CLUBアプリとアプリ内ポイントが必要です)。

参加したい!

様々なワークショップやイベントが日々開催されています。コンテンツはホームページでご案内しています。ポイント利用で参加するものや、当日参加OKのイベントもあるのでカフェを利用した際はFunRoomもチェックしてくださいね!

就活講座

親子イベント

講演会

ワークショップ

各種イベント

こんな風に使われています!

かけがえのない時間で **深まる**

誕生日や卒業パーティー、記念日など、大切な日を特別な場所で過ごすことで、その繋がりはさらに深いものになります。素敵な思い出が、明日からの笑顔と活力、かけがえのない絆になりますように♪

パースデーパーティー・懇親会

出会いや繋がりは、これからの人生をより彩りのあるものにしてくれるもの。いつまでも大切にしたい縁ですね。思い出づくり、ご協力させてください!



卒業・修了パーティー

Congratulation

がんばった仲間と一緒に楽しい時間を過ごしてください。運がよければピーくんがお祝いに来てくれるかも!?



趣味・共通点で **広がる**

ワークショップにご参加いただく方は同じような趣味をもった方が多いので、交流が広がると好評です。仲間が増えることで新たなFunが生まれ、ワイワイと活動されているのが印象的!

フラワーアレンジメント教室

最近では、開催前に並びができるほど好評です。参加者の多くが手芸などの趣味をお持ちで、それらの特技を活かした新しいイベントができないか思案中。発展が楽しみです。



こんなものまで作れちゃう!

カードゲームカフェ

同じような内容で活動しているサークル同士をお引き合わせすることで、さらに楽しい活動に発展することも!共通点があると一気に仲が深まりFun度もアップ!



さらに! こんなイベントも!

5月26日はピーくんのお誕生日。今年はファンの皆さんとお誕生日を祝うパーティーをFunRoomで開催しました。(5/27開催)



テラスdeベーゴマ体験会

ピーくんカフェのテラスでもワークショップを行っています。先日は、ベーゴマ体験会を開催!ベーゴマ初体験の子どもたちがたくさん集まってくれました。「懐かしい!」「昔は強かったんだよ!」という声もあり、老若男女みんなで楽しんでいただきました。

気軽に参加いただけるコンテンツもご用意しています。ぬり絵は、リラックス効果はもちろん、脳の活性化や指先の筋力トレーニングも期待できるそうですよ!



おとなぬり絵教室

詳しくは **FUN LIFE CLUB** をチェック!



ルームの概要やイベント開催スケジュールもアプリでチェックできます

4つのコミュニティルーム

コミュニティクラブ



千葉県佐倉市ユーカリが丘3-2-1 (ピーアーク ピークンクラブP内)

コミュニティルーム



東京都足立区谷中2-22-18 (ピーアーク ピークンガーデン内)

シェア・プラザ



東京都足立区竹の塚6-8-4 (ピーくんプラザ内)

FunRoom



東京都足立区千住旭町3-5 (P-KUN CAFE内)

共感と熱狂で ファンを幸せに!

庄司…本日はよろしくお願ひいたします。実は今回、パチンコファンづくりについて色々考えている中、御社に出会いました。ファンとの交流を楽しむ「超宴」というファン交流会を中心とした独自のファンづくりはもちろんです。若者のビール離れという業界が抱える大きな課題に対しても、「革命を起こして変えていきたい!」とおっしゃる井手社長の志にとても共感を覚え、今日は色々なお話をお聞きできることを楽しみにして来ました。早速ですが、まずは井手社長が御社ビールの最大の特徴であるエールビールに出会うまでのお話をお聞かせいただけますでしょうか?

井手…ヤッホーブルーイングの創業者は星野リゾート代表の星野佳路です。彼が学生時代に留学先で出会った、日本のキレイのあるビールとはまったく異なる、香りを楽しむエールビールの存在に衝撃を受け、いつか日本に紹介したいと思ったのがきっかけです。僕は前職で彼と知り合いで、一緒にやらないかと声をかけていただき、営業として参加しました。初めて飲んだときは一般的なビールの味とあまりに違うので、ビールとは思えなくて「これは何の飲み物だろう」という感じでした。同時に、今から僕らがこれを造るんだとワクワクしたのを覚えてます。

庄司…もともとビール造りに携わっていたわけではなかったんですね。実際にその新しいビールを飲まれたお客様の反応はどう

私たちはこれまでも、パチンコの魅力や新しい遊び方を創造し、広めていくことでファンの拡大に努めてきました。一方でレジャーが成熟し多様化するこれからの時代、ファンづくりはますます重要性を増していきます。今回は、独自の営業戦略によって、ファンイベントでは4,000人ももの自社ファンが神宮外苑軟式球場を埋めつくすクラフトビールメーカーの株式会社ヤッホーブルーイング井手直行代表取締役社長に、熱狂的に支持され、愛され続けるファンコミュニティづくりの秘訣をお伺いしました。

ビールに味を
人生に幸せを



株式会社ヤッホーブルーイング
代表取締役社長

ピーアークホールディングス株式会社
代表取締役社長

い で な お ゆ き し ょ う じ ま こ と
井手 直行 × **庄司 眞**

だったんですか？

井手.. 味も好評でしたが、当時は地ビールがブームで、その中のひとつみたいな形で売れていました。でもブームが終わると一気に消費が落ちて、300社ほどあった地ビール会社は100社以上倒産したんです。小さな会社は販路もないですし、醸造所の横に小さなバブを作ったり、地元の酒屋に販売してもらおうのがほとんどだったと思います。ただ我々は最初から日常的に家庭で飲まれることを目指していたので、大手さん以外では初めて瓶や樽生ではなく、缶にビールを詰めて販売していました。初めからスーパーやコンビニで売れることを想定していたんです。そこは他の会社とは違った点だと思います。缶という珍しさと価格の安さが相まって最初の3年間は全国の間屋さんから注文が殺到していました。でも、ブームが去ってから数年は何をやってもダメでしたね。

庄司.. たしかそうした苦しいときに、現在の主戦場であるインターネット販売と出会われたんですね。

井手.. そうです。ただ、「良いところに目をつけましたね」と皆さん言うってくれるんですが、考えつくことを全てやりつくして残っていたのがインターネット通販だったんです。目をつけたというより、これでダメだったら諦めるしかないなと思った最後の切り札みたいな感じでした。当時僕はインターネットで買い物なんてしたことない超初心

者だったので、楽天市場が主催していた新規出店者向け勉強会を片っ端から受けていたんですが、そこでメルマガの書き方や販売ページの具体的な作り方を教えてもらって、その通りにやってみたんです。でも最初は全然反応がありませんでした。「今日は暑いので、こんな日はビールいかがですか？」とか「お中元といえばビールですよね」とかみたいなメルマガを出してもピクリとも反応がない。売れないどころか、配信する度にどんどんメルマガを解除する人が増えて

しまつて。じゃあ他のお店はどうなんだと人気店のメルマガを見てみたら、衝撃を受けました。「今こんな気分」とか店長さんの独り言みたいな内容ばかりなんです。最後に「そういえば、今私が熱中して作っている新製品が」とちょこっと書いてあるだけで、一切売ろうとする気配がない。でもバックナンバーを読んでいったら、店長さんとの距離感がぐぐっと縮まって、楽しい世界を提供しながらもさらっと今手がけている商品を自分の素直な気持ちで書いて

いる。それを見て「買ってみたいな」と思った自分に気づいたんです。「これなのかもしれない」と。そのスタイルを参考にしてみたら、本当にその日に「今日のメルマガ楽しいね」「よなよなエールってそんな感じで造ったんだ、知らなかった！」みたいなコメントが初めて返ってきたんです。そのとき、僕が本当に楽しい、興味があると思ったことを一生懸命伝えてみよう、一部の人にしか興味がないかもしれないけど、僕が楽しいと思ったことに共感してくれる

人にとにかく訴えてみよう。それで続けてきました。

オンラインワンの価値を

庄司…御社のお客様との絶妙な関係性はそこから始まったんですね。メルマガって不特定多数ですし、相手がどんな方かまったく見えない。だから何をしたら楽しいと感じてもらえるかって簡単ではないはずなんです。当社は今36店舗のパチンコホールを経営していますが、全国展開されている大

お客様に「遊技してもらおう」ではなく「楽しんでいただく」を優先する考え方は、ピーアークのフィロソフィー（庄司）を



僕が本当に楽しい、興味があると思ったことを一生懸命伝えてみよう
僕が楽しいと思っただけに共感してくれる人にとにかく訴えてみようと続けてきた(井手)



手チエーンのように画一されたルールでお店を作っていくのではなく、それぞれの店舗の店長に権限をしっかりとってもらい、店長が創りたい店を作るスタイルをとっています。たしかに運営効率が悪いですが、でもお客様が本当に求めていることは、実際にお客様と接している現場のスタッフしか知り得ないもの。実はパチンコ業界は、長らくお客様とお店が「勝負する」という相対的な商売観から抜け出せずにいました。でもある日、お客様から「今日は負けただけ

ど楽しかったよ」という一言を頂いた。当たり前なかつたけど満足されている、これはなぜかというところ、「勝った負けただけではなく、来店から退店まで店内で過ごした時間こそ価値がある」ということを意味しています。まさに「時間消費型レジャー」という概念が生まれた瞬間でした。そして実はこの大転換がピーアークの歴史のスタートになっていきます。どのような時間の過ごし方を提案すればお客様により楽しんでいただけるのか、スタッフ一人ひとりが一生懸命

考えるようになりました。入口でのお出迎えもそうですし、お声がけの言葉遣いやタッピング、お持ち帰りいただく賞品など。このパチンコ遊技に関する一連のプロセスに、どのような付加価値を付ければより満足していただけるのかという考え方を業界で初めて取り入れたのがピーアークです。当時1玉4円の貸玉を1円にした「1円パチンコ」もここから生まれました。普通に考えたら売上が1/4になるので誰もやりたがらないですが、より手軽に楽しんでもら

いたいという思いが強かったからこそ踏み切れました。業界からは大反対されましたし、そんなの続くはずがないという声もありましたけど、今は全国津々浦々のお店に浸透していて、想像を大きく超えた形で多くのパチンコファンにご愛用いただいています。お客様に「遊技してもらおう」ではなく「楽しんでいただく」を優先する考え方は、ピーアークのフィロソフィーです。だから、先ほどのお話はすごく共感しました。

井手..僕も感じるところは、ビールを買う

理由って味はもちろんだと思うんですけど、深層心理はちょっと違って、飲んでいるときの楽しいひとときとか、「頑張った今日の自分、いいなあ」みたいな、生活の中での大切な行事になっていくということに気づきました。そのときに、味だけではなく、「よなよなエールを飲んでいるときはこんなに楽しい」というのを一緒にお届けすることで、他のビールにはない、楽しい時間を過ごしてもらおうツールになると思ったんです。飲むだけならよなよなエールじゃなくてもいいけど、よなよなエールを買ってから飲み終わるまでの楽しい時間、「またイベント行きたいな」とかそういう想いを一緒に過ごしてもらうことが僕らにとつての価値だと思っているので、通じるころがありますね。日本で一番売れるビールにはなれなくても、「この分野だけは、よなよなエールを一番支持するよ」とお客様に応援してもらえるように取り組んでいきたいと思っています。

庄司… 私たちのお客様も朝から遊びたい人、もしくは、仕事後にストレス発散したい人、ちょっと時間が空いたからなど来店理由は色々あって、それぞれの時間にどう魅力づけするかが重要だと思っています。そこで一番大事なことは、この考え方を社員全員が同じ目線で共有することだと思っています。井手社長もそこにすごく力を入れていらっしゃいますよね。

井手… 先ほどの店長さんの話に似てまして、

お客様の来店理由は色々あって、
それぞれの時間にどう
魅力づけするかが重要(庄司)



「よなよなエールを飲んでいるお客様が喜ぶようなことをまずはやってみよう」という姿勢が多いですね。メルマガも書き手によって一人ひとりタッチが違いますが、興味があるポイントはある人それぞれなので、100人全員にささるなくても50人にささって、次の書き手が違う50人にささればいいですよ。そんな風に、いろんな人間がファンの喜びをイメージしながらやっていると、新しい企画がどんどん出てきて、ブラッシュアップしたり改良したりいまだに手探りですが、ただ、常に進化してるとは思っています。時代が変わればお客様のニーズも変わるし、スタッフも入れ替わっていくので、その中で常にファンが喜ぶようなことを提案し続けて、他社が追従できない高いレベルにどんどんもっていく。そして、それを全部自分たちでやっているのもポイントかもしれません。それが普通だと思っていたんですが、イベントの企画や運営を代理店さんに依頼しているところが多いと聞いて、びっくりしたんですね。僕らもそうしかったけどお金がなかった。でも、自分たちでやれば、反応をダイレクトに感じることでできて、自分たちでまたそれをブラッシュアップできる。第三者に丸投げしちゃうと、自分たちにノウハウが蓄積しないし、みんなが代理店に頼んでいたら、どれも似たようなものになってしまいますよね。僕らは自分たちで考えているので、精度はまだだまかもいれないけど、独自進化を遂げ

想像を超える感動を求めて

ている、そういうことかなと思っています。
庄司… 御社の独自価値はそこから生まれているんですね。社員の皆さんにきちんとビジョンやイズムが共有され、浸透しているように感じられるのですが、例えばどんなことをされているんですか？

井手… ある程度のイメージは共有していますが、細かな文章化はしていません。そこを一番体感できるのは、例えばファンイベントで、私や先輩社員がどうやってお客様に対応しているかというのを見たり感じたりすることで「あっ、これが僕らの会社のやり方なんだ」というのが伝わるというか、実際にやってみて感じてみるのが一番だと思います。

庄司… 当社も基本的にはマニュアルがないのでお客様へのおもてなしは十人十色。その中でどうやって品質を保つたり高めていくかが重要ですが、今私たちが取り組んでいることはスタッフが日々「お客様からありがとうを頂いたエピソード」を紙に書いて毎月集め、全社員の投票で一番ピーアークらしいエピソードを選んで称賛しています。選ばれたスタッフはもちろん嬉しいし、何よりもこうした仲間を認め合う空気は、「もっとお客様に喜んでいただくには明日から何をしたらいいだろう」と他のスタッフを前向きな行動にさせてくれます。だから会社のルールやノルマとしてやるのではなく、

よなよなエールを買ってから
飲み終わるまでの楽しい時間、
「またイベント行きたいな」とか
そういう想いを一緒に過ごしてもらうことが
僕らにとっての価値(井手)

よなよなエールを買ってからの楽しい時間、飲み終わるまでの楽しい時間、またイベント行きたいなとか、そういう想いを一緒に過ごしてもらうことが僕らにとっての価値(井手)

く、お客様に喜んでもらえることをみんなが自発的に考えて行動できるような組織づくりを意識しています。

井手… 今のお話と近いのですが、去年くらいから意識してやっているのが、お客様との対応でWOWをお届けすること。「ありがとう」よりも上の「WOW! 感動した!」というレベル、それを意識しながらその事例を率先して作っていく、共有していくという取組みが盛り上がっています。月刊WOWという社内報もできましたし、つい先日、担当者が製造部門のスタッフに聞き取りをしていて、後で聞いてみたら、製造部門はお客様と接する機会が少ないから、お客様が喜んでくれた情報を発信するだけじゃなくて、どんな情報があればモチベーションが上がったり仕事の役に立つかというのを聞きながら、顧客接点が少ない部門のお客様の声に対するニーズを調査していたらしくて。そういうものが社内ですべて発展してきて、いいなと思っています。

庄司… 素晴らしい取組みですね! やっぱ仕事のモチベーションってお客様からもらうんですね。ちなみに先ほどWOWとありましたが、実は昨年の当社テレビCMのテーマも「WOW!」でした(笑)。まさにお客様の想像を超えるものを作っていくこと、そのときに出てくる言葉がWOWだね! という想いでやっていたので、びっくりしましたよ! お客様の望んでいることにそのままお応えするんじゃなく、さらに先

読みして提案しないとWOWには行きつかない。だから難しいんですが、目指しがいもあるんですよ。

井手…僕らも、お客様が喜んでくれるのは大前提なんですけど、例えば満足度の5段階評価があったら、4じゃダメだよ、ありがとうじゃなくて、その上の「感動した!」、4を取りにいくんじゃなくて5を取りにいこうと、そういう感じを目指してますね。今の成熟した時代、お客様に聞いたことをやっても想定内で、僕らが「こうやったらお客様が感動してくれるんじゃないか」というのを常に考えて、生み出していくしかないんだらうと思っています。お客様から頂くお声や要望も、それをそのまま叶えても4にしかならないので、少しでも可能性を感じたら直接顧客インタビューをしています。ウェブ上で調査したり、必要に応じては何十人か集めて、より直接、より深く聞く場を設けてます。

庄司…井手社長の著書『ぶしゅよなよなエールがお世話になります』（東洋経済新報社、2016）にも「スタッフとお客様が接点をもつことで爆発的にロイヤリティが上がった」と書いてありましたが、お客様と接触する機会は意図的に増やしているんじゃないんですか？

井手…インタビュー自体は、顧客の声を直接掴みたいというところからですが、例えば去年は約3000人に長野県の醸造所見学ツアーに来ていただきましたが、ファン

直近の売上を**全部捨てても**お客様の**満足度**を高めることに集中する。ビジネス的に考えれば考えるほど他社は躊躇するけど、だからこそ**容易に真似できない**(井手)



お客様の**想像を超えるもの**を作っていく。お客様の望んでいることにそのままお応えするのではなく、さらに**先読みして提案**していくのは難しいけど、だからこそ**目指しがい**がある (庄司)

度が上がったのを感じます。一般的な工場見学はそこまでロイヤリティが上がるかというところ、4はいつても5にはならないと思っ

ていて。でも僕らはこれまでの経験値から、お客様が喜ぶいろいろなことをあの手この手でやっている、僕らのことを熱狂的に好きになってくれるというのが分かっている。僕らのやり方の基本みたいになってますね。大手さんは大々的にテレビCMを打たれたりするんですけど、僕らは、

すごく限られた人数かもしれないけど直接お会いして、直接驚かせて、長くファンになっていただきたい、そういう関係を1人ずつコツコツ築いたことで、今は何千人・何万人という方が僕らのビールの売上を支えてくださっていると信じています。

庄司…実は恥ずかしながら、電車の中で著書を読んで泣いちゃったんですよ。超宴のスピーチの際に、井手社長、感動して涙が流れたって書いてあったじゃないですか。情景が思い浮かんだんですよ。お客様の笑顔とかスタッフの顔とか。イベント規模もどんどん大きくなっていますが、ファンとの接し方や企画の考え方は変わってきていますか？

ファンコミュニケーションのこれから

井手…やっぱり変わりますね。規模が大きくなれば、当然1人のお客様に対応する時間は短くなりますし、今までのオペレーションじゃ通じなくなります。そうすると、1対1でお話もするけれど全員が楽しめるようなコンテンツがないと難しいので、試しに〇×クイズをやってみたら一体感が生まれて。また1対1じゃなくても、1対1000で楽しむこともできるんだと分かったり。だから、規模やコンテンツは変わっても、ファンが「俺の方を向いてくれない」なんて思わないような、皆さんのこともちゃんと見てますよ、というコンテンツやコミュニ

ニケーションに進化しています。あと、2年ほど前からインターネット上での生中継イベントを試験的に行っていて、それがだんだんと根付いてきてますね。

庄司..まさにオンライン飲み会ですね!

井手..夜の8〜9時位からフェイスブックのライブ機能を使って、お客様から寄せられた書き込みを見ながら視聴者に語りかける、お客様参加型の動画イベントで、毎回数百人が参加してくれています。メルマガやフェイスブックはリアリティがちょっと弱いけど、実際のファンイベントは場所が遠かったり日にちが合わなかったり、僕らも頻繁には開催できないので、その折衷案みたいな感じでしょうか。直接は会えないけど、画面越しに僕らの顔は見えて、リアルタイムでお客様の声に応えていくという、新しいコミュニケーション。規模が大きくなっていく中で、違う形で、多くの人に僕らの想いを伝えられないかと試行錯誤して取り組んでいるものです。

庄司..なるほど。色々なメディアや機会を使って、本当に多くのファンの方々と生のコミュニケーションをとられているんですね。一方でビールは好きだけど、まだエールビールに出会ってないという人に対してはどのようなことをされていますか?

井手..そういう方には、ファンの方が誘うとか、紹介してもらうのが一番効果があるなという感じですね。僕らが言っても興味なければその情報はシャットダウンされ

てしまいますが、友人から「楽しいから一緒に行こうよ」と誘われると行ってみようと思いますよね。データを取ると超宴の来場者の1/3がよなよなエールを初めて飲んだみたいなんですよ。入場料も安くないので、でも、そういう方も含めて全体的に満足度がとても高いんです。

庄司..え、3人に1人ですか?それはすごいですよ!

井手..北軽井沢のキャンペーンもそうです。わざわざ北軽井沢に来てくれた30%がよなよなエールを初めて飲んだ人なんてびっくりですよ。でも90%以上に大満足と言っていたので、とにかく来ていただければ楽しくて、味も雰囲気も良い思い出になって、結果的に僕らの売上もずっと伸びているところを見ると、効果があるんだと思いますし、ちゃんと紐づけができない分、大手さんは真似できないものだと思います。「このイベントで何%がリピートしてくれるんだ」って聞かれても分からないですよ。それに、イベント自体すごい赤字ですし、普通は決裁下りないでしょう(笑)。でも、それしかしてないんですよ。売上に直結する活動はほぼしていません。

庄司..パチンコ業界もまさに今それが必要だと、真剣に感じました。ノンユーザーが30%来るイベントなんて考えられないです。もちろん色々な努力はしていますが、結局は既存のお客様が中心で、遊技人口も減少

傾向。でもやっぱりリアルで会って、私たちの想いをきちんとお伝えするのがすごく大事だなと思いました。SNSや空中戦で情報発信するだけじゃダメで、直に会って何かを感じてもらおうというプロセスがすごく重要で、誰がなぜ来るのかという理由づけも含めて検討することが必要なんです。

井手..私は「トレードオフ」だと思っていて、普通は売上も満足度も思っています。普通は何かを取ったら何かを捨てる、僕らの施策の中で共通するのは、直近の売上を全部捨てても、お客様の満足度を高めることに集中しているんですよ。お客様の喜ぶことをやる、後から売上はついてくるんだ。ビジネス的に考えれば考えるほど他社は躊躇するけど、だからこそ容易に真似できないところだと思っています。

庄司..心から共感しますし、今日は本当に良い気づきをたくさん頂きました。では最後に井手社長のFun for Lifeを教えてください。

井手..ファンの方やスタッフが本当に喜んでるのを見るのが幸せですね。ファンに喜んでいただくのは当然ですが、僕の考えは、ファンに喜んでもらうためにはスタッフが喜んでいないと無理だと思っています。で、この双方が喜んでくれるのが何よりの幸せで、クラブビールを造って届けることの力の源泉ですね。

庄司..お客様もスタッフも喜びを共有できる関係だからこそ、熱狂的で唯一無二の応

援団になる。ピーアークもそんなファンづくりに挑戦していきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。(敬称略)



ファンイベント「よなよなエールの超宴」の様子。次回は2018年秋、東京都内で開催予定

Profile

井手 直行 氏



株式会社ヤッホーブルーイング 代表取締役社長(ニックネーム:てんちょ)、1967年生まれ。福岡県出身。97年ヤッホーブルーイング創業時に営業担当として入社。2004年楽天市場担当としてネット業務を推進、業績をV字回復させた。08年より現職。著書に『ぶしゅ よなよなエールがお世話になります』(東洋経済新報社)。



世代を超えて楽しめる

ピーくんの

楽縁祭

がくえんさい

2月28日(水)、北千住シアター1010(センジュ)で「第3回ピーくんの楽縁祭(後援:足立区)」を開催しました。今回のテーマは「世代を超えて楽しめる」。楽縁祭を訪れることで、新しい出会いや世代を超えた交流が生まれたり、他にはない楽しさがここから生まれるのではないかと私たちの挑戦です。コンテンツは、足立区を中心に活動する方々のワークショップや飲食ブースはもちろん、NPO法人森林インストラクター会フォレスト様の木製おもちゃ&アクセサリ製作ワークショップやベーゴマ普及協会様のベーゴマ体験教室をお招きし、子どもたちも多く来場する会場で、世代を超えた交流が盛んに行われました。

ピーくん財団は、地域社会の発展及び地域住民の満足度向上と豊かな生活の実現を目指し、みんなが笑顔になるような活動を応援しています。今回は、2月に開催した「楽縁祭」と、支援団体への寄付報告をお知らせいたします。



親子で楽しめるワークショップも充実



ピーくんはやっぱり大人気



出展者の皆さまと。この繋がりもこれからの活動に活かしていきます

2017年度ピーくん財団寄付報告

認定NPO法人カタリバ	1,000,000円
認定NPO法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会	2,000,000円
特定非営利活動法人ガイアイニシアティブ(ピーくん+1の森)	2,000,000円
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本	1,000,000円
社会福祉法人日本介助犬協会	550,000円
able映画製作委員会	100,000円



スポット 2

放送局&ライブで Yeah!

会場の特設スタジオでは、足立区のキラリと輝く方を学生目線で紹介する「足立人図鑑(学生版)」さんの協力で、出展者の方々を動画で紹介する「楽縁祭放送局」が行われました。また、終盤には昨年に引き続き、“人生を唄う”シンガーソングライター岡秀年さんと“平成生まれの昭和アイドル”石井利佳さんのコラボライブが開催されました。



スポット 1

世代を超えて楽しもう!

懐かしい木のおもちゃが作れるブースやベーゴマで遊べるブースを用意。教えてくれるのは、人生の先輩の皆さま! 懐かしみながら楽しむ人や「このコマ初めて見た!」というお子様までそれぞれが楽しんでいる姿が印象的でした。



スポット 4

インスタ映え??

ピーくんとの記念撮影はもちろん、楽しい瞬間をより楽しく写真に収められるように、装飾にもこだわりました。



スポット 3

美味しいごはん! お子様と一緒に ゆったりリラックス♪

飲食ブースも充実しているので、選ぶのも楽しい! お子様はもちろん、ママにもゆっくりしてほしいから、キッズスペース付きのお食事スペースも設けました。あれれ、ピーくんも食べたいのかな?(笑)



まとめ



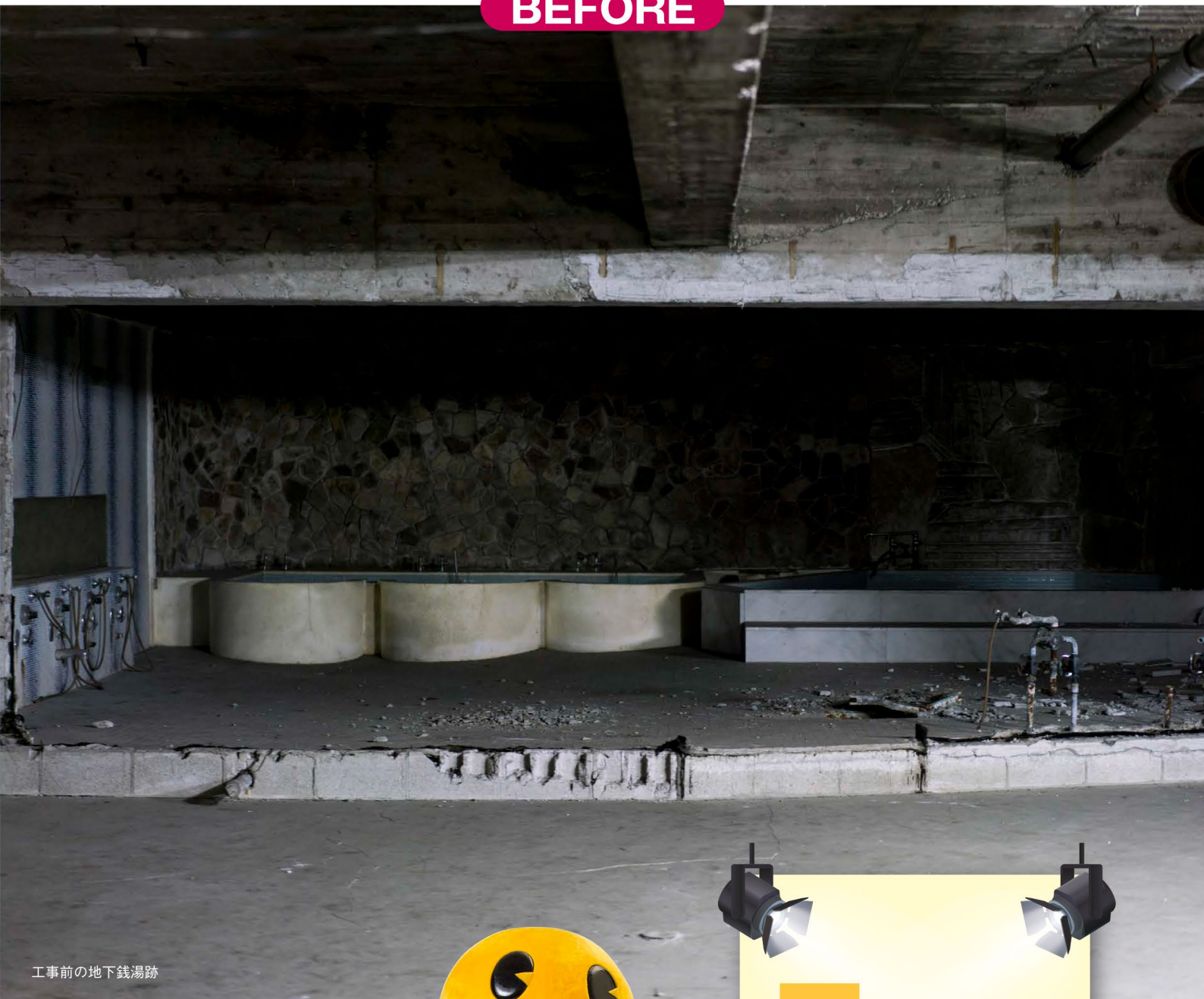
約500名にご来場いただいた今回の楽縁祭。来場者アンケートでは満足度は86点。さらに、世代を超えた交流があった人の方が高い満足度という結果が何よりの収穫です。皆様のご感想・ご要望を取り入れながら、ピーくん財団はこれからもFunを届けられるような活動を行ってまいります。

野中理事長も
たくさんの方々と
ふれ合いました。





BEFORE



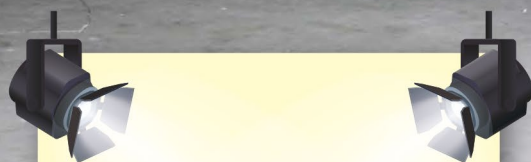
工事前の地下銭湯跡

行ってきました!

異ジャンルの芸術が集まる、元銭湯の劇場

BU⁰Y 〈ブイ〉
北千住アートセンター
(東京都)

元銭湯の廃墟を改装し、劇場・ギャラリー・カフェといった複合施設へ。「異なる価値観と出会う場所」として誕生した劇場、BU⁰Y北千住アートセンター。今回は芸術監督の岸本佳子さんにお話を伺ってきました。



Fun
for
Life

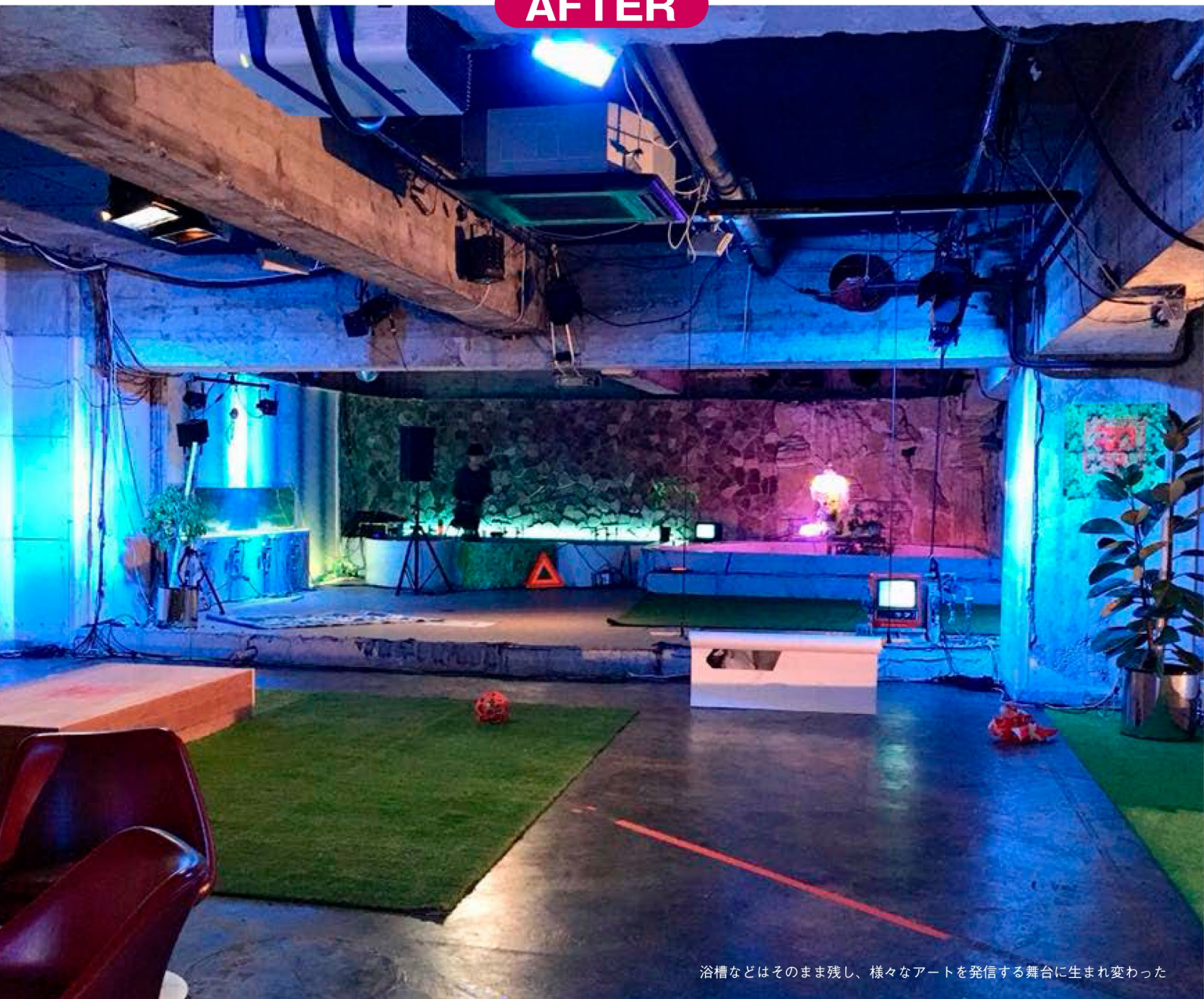
を 求 め て

vol.19





AFTER



浴槽などはそのまま残し、様々なアートを発信する舞台に生まれ変わった

😊 岸本さんこんにちは。まず初めに、BU⁰Yを始めることになった経緯から聞かせてください。

岸本さん(以下、岸)…小学生のときにふとしたきっかけから演劇部に入ったのが始まりですね。そのあとニューヨークで芸術監督養成コースという、ちょっと特殊な大学院に通っていたりして、元々劇場のプログラム・ディレクターになりたいと思っていました。でもそれって、すでにある劇場でプログラム・ディレクターになることを想定していたわけで、このBU⁰Yみたいに劇場をゼロから創りたいと思っていたわけではないんですよ。ただいつか、例えば20年後くらいにそういった仕事ができたらいいな、と思ってはいた感じで。そうしたら、たまたまこの場所が見つかって「誰か劇場の監督をできる人いない？」という話になったときに「私できます！」と手を挙げちゃって実現した話なんですよ。

😊 凄いチャレンジ精神ですね！そこから始まったんですね。ところで、BU⁰Yについて調べてみると「多様性」というキーワードが出てきますよね？これについて少し詳しく聞かせてください！

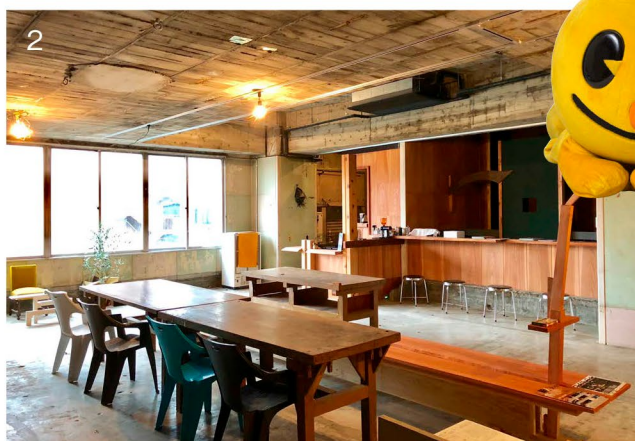
岸…そうですね。BU⁰Yを北千住に建ち上げるかも…となり、実際街を歩いてみると、込み入った飲み屋街とルミネやマルイが共存していたり、明らかに不思議な町という感じがしたんです。また、大学もたくさんあるけど、住んでる方はお年寄りが多



かったり、新しいマンションがいっぱい建つてるけど、地元の魚屋さんもめっちゃくちゃ元気だったり。そういう点からも「多様性」というキーワードが一目瞭然だったんですね。なぜこのような「特異な町」ができたのか、と考えていくと、「元々この町は宿場町であり、地元住民だけでなく他の地域から来る人々も受け入れて成り立ってきた「懐の深さ」が「多様性」を生み出している」と気づいたんです。北千住という町が歴史の中で生み出してきたその「多様性」が、私たちがやりたい「異ジャンルのアートが集まる場所」「異なる価値観と出会う場所」というコンセプトと共鳴したんです。BUOYでは、劇だけじゃなくてダンスや現代美術など様々なアートの触れることができるんですよ。

😊 **確かに北千住の渾然一体となった魅力とBUOYはマッチしていますよね。そう言えば、BUOYという名前はとも印象的で素敵ですね。この名前にはどのような想いが込められているんですか？**

岸…会議で色々意見を出し合ったりしたんですけど、メンバーからの提案で決まった感じですね。BUOYって元々ラテン語が語源なんですけど、日本語では『浮標』と書いて『ブイ』って読みます。そういった名前自体にも語源的な多様性も持っていることもありますし、「浮かせる」「支える」「元気づける」といったポジティブな意味もあって。そこが私たちがBUOYでやりたいこ



1. お茶をするだけでも気軽に立ち寄れるカフェスペース 2. 社交の場としても機能し、劇場と日常との境界線をあえて緩くしている 3. 様々な分野のメンバーが、その個性と能力を活かしてBUOYを立ち上げた 4. BUOY Cafeでは「読み上げるコーヒー」など、独創的なメニューが用意されている

とを表現できるかな、と思って。ピヨコンと浮いている感じも可愛くて、ロゴも「O」だけ浮いているんですよ。

😊 **あ！本当だ(笑)。可愛いですね！BUOYにはカフェも併設されていますよね。このカフェにはどのような想いが？**

岸…ヨーロッパやニューヨークの劇場って、大体ロビーにカフェが併設されていて、見終わった後でお酒を飲みながら「楽しかった」「あそこがどうだった」とか話すような文化があるんです。またドイツなどでは劇場に行くこと近所さんがいたり、社交の場になっていたりするんですよ。つまり「一人で見に行ったら、一人で帰ってくる」じゃなくて、会ったことのない人とコミュニケーションが生まれるような場として劇場が機能しているってことなんです。その点で言うと、日本の劇場では「人がたまることを嫌がられたりとか、ロビーで高いシャンパンを売ってる割に、劇場内に持ち込むと怒られたりしちゃうんです。BUOYではそうではなくて「境界線が緩い感じ」というか、つまり飲みながら観劇できたり、ロビーで人が交流できる感じを再現したかったんですよ。だから通常劇場って、チケットを購入しないと中に入れないことが多いんですけど、BUOYではチケットを買わなくても中に入れるという感じにしたいってこのカフェを作ったんです。

😊 **なるほど！カフェ目的でも気軽に訪れることができるということですね。実際に岸**

本さんの思い描いているような場面も生まれているんですか？

岸…ありますあります！一般的に劇場って開演時刻までに行かなくていいし、なかなかリスキーですよ（笑）。でもBU^oYは地元の方がふらっと入ってきてくださったりと、劇場としてのハードルが低くなっている感じがありますね。BU^oYではカフェの一角に無料のギャラリーを開放しているので、カフェのついでに絵を見て帰ってくださったりとか！

😊素晴らしいカフェですね！HPでは「ぶれるカフェ」と表現されていますが、これにはどのような意味が？面白いコンセプトですよ。

岸…このカフェの「ぶれる」というコンセプトも「多様性」の表現の一部なんですけど、コーヒーの抽出方法が選べるんです。「正解」からぶれてみる、ということなんですけど、BU^oYのカフェではバリスタが毎日その日の気分や身体感覚からイメージを起こして、オリジナルの抽出レシピを作っていきます。

😊初めて聞きました、そういうカフェ！
岸…はい！これは私が考えたわけではなくて、BU^oYの仲間が私のコンセプトを自分なりに解釈してくれて、こういう形にしてくれたんです。これはカフェに限った話ではなくて、この場所を好きな人たちが建築やコーヒーだったり、演劇、ダンスといった自分なりの自己表現でBU^oYを作って

くれることによってでき上がっていく。そんな感じですよ（笑）。また、クラウドファンディングで出資してくださった方々の想いも、BU^oYを成長させていく大きな力ですね。この場を借りて御礼申し上げます。

😊色々な方々が色々な個性をもって訪れるから、色々な事が起こりそうですよね！今後の方向性を、最後にお聞きしてもいいですか？

岸…今でも外国の方が親子でカフェに入ってきてくれたりすることがあるんですけど、もっと地元の方に気軽に立ち寄ってもらえるような場所にしていきたいですね。あとBU^oYが、ここを訪れる人たちが来る途中や帰り道に北千住の魅力に触れてくれるきっかけになってくれたら嬉しいですね！

😊それはBU^oYらしいあり方ですよ！岸本さん、本日はありがとうございました！

Information

BU^oY 〈ブイ〉

<http://buoy.or.jp/>


〒120-0036
東京都足立区千住仲町49-11
東京メトロ千代田線・日比谷線/JR常磐線/
東武スカイツリーライン
「北千住」駅出口1より徒歩6分、西口より徒歩8分



Profile

岸本 佳子 氏

BU^oY芸術監督。演出家。大学講師。
東京大学の大学院を卒業後、コロンビア大学に留学し、劇場のプログラム・ディレクター養成コースで学んだ後、2017年7月にBU^oY芸術監督に就任。




まとめ

実際に訪れてみると、とてもワクワクする空間でした。
「面白くて楽しいことがそこにあるのだから、ふらっと来て気軽に触れられるようにしたい」という岸本さんの想いにとっても共感を覚えました。
空間を創る人、そこで演じる人、そこに見にくる人。
みんながBU^oYを創ることがとても素敵ですよ！
BU^oYの存在自体が、北千住に関わる人々にとってのFun for Lifeなんですね！

楽しさいっぱい！みんなでハイタッチ！

すぽーつらんど

ピークんの SPORTS LAND

ピークン presents 幕張メッセ

びきびき 大玉マージャン 2018

今年のピークンブースは、様々なスポーツアトラクションを詰め込んだ「ピークんのSPORTS LAND」。みんなで競い合いながら、応援しながら、協力しながら楽しむ挑戦型アトラクションを展開しました。ブースは子どもたちを中心に大盛り上がり。笑顔や歓声、楽しい雰囲気であふれ、Funを共有するハイタッチもあちこちで生まれていました。

ピークんの 大玉マージャン



フリースロー型のジャンボパチンコ。どこに入るかわからないドキドキとワクワクで大盛り上がり！

スタンプラリー



アドラクションに参加して、スタンプを集めよう！

ピークんの 褒め笑いカーリング



ピークンの目と鼻がカーリングのストーンに。上手にストーンを投げてピークンを完成させよう！



キャップボックス すべり台



キャップ回収箱にすべり台が付いたら!? 楽しく遊びながらエコを身近に感じてもらう！



ハッシュタグ キャンペーン

#

どきどきフリマの楽しさを SNSで広めよう！

ピークン飛行船



上空をブカブカ回遊♪

ピークんの 大玉マージャン



ピークンの顔が大玉に！ シンプルゆえに一番燃えるタイムドライブ！

ピークんと記念撮影



ブースの入り口でピークンがお出迎え。今日の記念にみんなでハイチーズ！

ピークんの どきどきグッズコーナー



チャレンジしてくれたみんなにピークングッズをプレゼント。ピークンTシャツの売上はピークン財団に寄付したよ。

ピークんの 大玉マージャン



本物のピークンが隠れた的を撃ち抜こう！



ポイント②

ピーくんが大活躍!

子どもたちを中心に、ピーくんの周りにはいつもたくさんの人・人! 若手社員がレポーターに挑戦したラジオにピーくんが参加したり(喋れないのに! 笑)、bayfmの公開収録にもピーくんが登場し、特技のダンスを披露するなど、活躍の場を広げています。



ポイント④

あなたの夢叶えます!

Funエピソード2017年間グランプリに輝いたナビスタッフの佐野拓也さんはSA-NONとして活動するヒップホップアーティスト。得意のボイスパーカッションと歌声を1人でも多くの人に聴いてもらいたいという夢を応援するため、インタビューとミニライブでbayfmラジオ出演しました。

Check!

SA-NONツイッター @sanonizm



3日間で約19万人が
来場しました。
また遊ぼうね~!

タッチ! でハッピー!!



ハッピー!! ピーアーケードブース
ポイント

ポイント①

みんなで楽しめる!

ゲームを観戦&応援しやすいようにつくりを工夫したり、親子で協力したり、タイムトライアル要素を加えることで来場者同士で盛り上がり楽しめるようにしました。



ポイント③

楽しさ広めるハッシュタグキャンペーン

「どきどきフリーマーケットを知らない人、まだ遊びに来たことのない方にも会場の楽しさを伝えよう」と、来場者にどきどきフリーマーケットの楽しさを発信していただくハッシュタグキャンペーンを実施しました。ピーくん審査委員長が選んだ投稿には素敵なプレゼントも。

投稿は、#ピーくん #どきどきフリーマーケット で検索!



スタジオ **ピーくんステージ**
ワクワク！ピーくん寄席



いつも楽しみにしていただきありがとうございます！今年も社員のスペシャリティを存分に発揮した「落語」「マジック」「お笑い漫才」でお楽しみいただきました。

楽しい瞬間に！ 新しい出会いに！ ワクワクに！

ゴールデンウィークも

**タッチ！
タッチ！
タッチ！**



ゴールデンウィークは、初めましてのお客様に出会う機会であり、そして、いつもご愛顧いただいているお客様に、「さらに楽しい時間を過ごしていただきたい」という私たちの思いをお伝えする機会にするべく、「楽しいにタッチ！」していただける様々な企画を実施しました。

北千住 世界にひとつだけのピーくん



4月からスタートしたこの企画。様々なデザインされたピーくんぬいぐるみをポイント景品としてご用意しているのですが、なんと…お客様が描いてくださったデザインを基に製作しているんです。あなたが描いた、世界にたったひとつのピーくんがご来店をお待ちしています♪

ピーくんファン

究極のオンリーワン！
スタッフのフェイススタンプ



コレ、来店ポイントカードのスタンプなんです！ポイントカードは、スタンプが貯まっていくことはもちろん楽しいですが、スタッフの顔がスタンプになっていたら、「今日は誰にしよう」「すごく似てるー！」など、ワクワクすること間違いなし！気になる方はぜひピーアークピーくんファンへ足を運んで確かめてみてくださいね♪

南行徳 新企画で地域のお祭りをもっと楽しく

ピーアークも毎回ブース出店させていただく、南行徳笑天会の「南行ホコ天」。今回は、各ブースご利用ごとに抽選券をお渡しし、ガラポンに参加できる「ピーくん抽選会」を企画提案させていただき、実施しました。出店者同士の横の繋がりを作りたいという想いで準備したこの企画。お祭りの来場者が増えたり、お祭り自体にも新たな楽しみができたりと皆さんに喜んでいただくことができました。



本八幡 ワークショップ総付け景品と嬉しいエピソード



お客様と一緒に作る体験型の総付け景品はやはり人気。本八幡では、「UVレジンアクセサリ作り」を実施。一見難しそうですが、簡単に完成度の高いアクセサリができるので、お客様がみな笑顔になっていただけなのが印象的です。そして、嬉しい後日談をご紹介します。
「お昼休憩でご飯を買いに近くのお店に行ったら、当店のお得意様と店員さんが楽しそうにお話されていました。そして、先ほど作ったアクセサリを『これ、ピーアークで作ったのよ』と楽しそうにお話されていたのです。その後、3人でUVレジンについての話に花を咲かせることができました。店員さんと仲良くなることができ、お客様にも感謝しています」



ピーくんパーク
GWにぴったりなポイント景品



ピーくんマスコットを兜仕様に施した、ゴールデンウィーク限定のポイント景品。お客様やお孫様へのプレゼントにされる方が多く、持ち帰った景品を見て喜ぶお子様の笑顔を想像するだけで…嬉しくなります。



ピーくんステーション
基石の二次元コード

コレ、基石でできているんです。
もちろんちゃんと読み込めます(笑)。



ピーくんステーション
お掃除バスターズ



繁忙期になると現れると噂の「お掃除バスターズ」。毎日行うものだからこそ、楽しく!キレイに!お客様とのコミュニケーションも楽しみのひとつなので、お掃除バスターズを見つけたらぜひ声をかけてください。

ラフェスタ(合同) ゴールド VS シルバー対決



賞品、ポイント景品から花壇に植えるお花まで、スタッフが2チームに分かれてそれぞれが厳選したアイテムで対決しました。お客様が「いいね!」と思ったチームに投票する仕組みで、選ぶ楽しみはもちろん、コミュニケーションも楽しくなるお客様参加型の企画でした!



～規則改正について～



どんな変化があるのかピーくん教えて！

パチスロ編 パチスロはどうなるの？

- ①^{ゲーム}1Gあたり純増2枚の上限解除。
- ②ボーナスの払い出し枚数上限が480枚→300枚へ。
- ③短時間・長期間の最大機械割(出玉率)が抑制。

point check!!

^{ゲーム}1Gあたり純増2枚の上限が解除されたから、仕事帰りやちょっとした空き時間などの短時間でも遊べる台が増えそうだよな！

Q. パチンコ・パチスロの古い台が少ないのはなぜ？

A. 規則改正により、すでに検定・認定の切れた遊技機の一部の使用が禁止されているからだよ。



ピーくんのパチンコ・パチスロ講座

2018年2月に、パチンコ・パチスロに関する遊技機関連規則が改正されたよね。

パチンコ編 パチンコはどうなるの？

- ①6段階設定が可能。
- ②大当たり獲得玉数の上限が2400個→1500個へ。
- ③パチンコの大当たりラウンドが最大16ラウンド→10ラウンドへ。
- ④短時間・長時間の最大機械割(出玉率)が抑制。

point check!!

大当たり1回の最大出玉は減っちゃうけど、その分初当たりまでにかかる金額が減り、ライトミドル(大当たり確率200分の1くらい)が増えそうだね。設定付きパチンコの登場も楽しみ！



Q. 今ある台はいつまで遊べるの？

A. 機種によって違うけど、最長で2021年1月31日まで遊べるよ。

Social Good



Episode ① つながる“みどりのかふえ”

先日、「みどりのかふえ」に嬉しいゲストが来ていただきました。「みどりのかふえ」は、前号のFun for Lifeでもご紹介した、「地域の方が気軽に集い楽しめる憩いの場」。毎週水曜日、ピーアークおゆみ野に隣接する「麺屋とき田」さんに会場をお借りして、健康体操を行ったり懐かしの歌謡曲をみんなで歌ったり、たくさんの方にお楽しみいただいている催しで、ピーアークも運営をお手伝いしています。

さて、話を戻しますね。そのゲストとは…岡秀年さん！ピーくんの楽縁祭でいつも弁舌に優れたトークと熱い、熱すぎるライブで会場を盛り上げてくださるシンガーソングライターさんです。

みどりのかふえも岡秀年さんも、私たちの掲げる「Social Good」の理念にとっても共感してくださっていて、ともに地域を楽しくするパートナーとして大切な存在であります。特にお二方のお引き合わせをしたこともなく、千葉県鎌取駅前前で開いているみどりのかふえと、都内を中心に活動する岡さんがどう出会ったのか…そのストーリーを聞いて、私たちはとても感動したんです！

とある冬の日、岡さんがライブを行っていた会場をみどりのかふえ運営者の谷元さんがたまたま通りかかったことから始まります。岡さんは、数日後に控える「ピーくんの楽縁祭」のパンフレットを会場に置いて宣伝してくださっていました。『ピーアークの人は見当たらないけど、ピーくんが描いてあるパンフレットが置いてある…知り合いかな？』と谷元さんがライブ運営の方に声をかけたことで岡さんと出会い、お互いの活動や取組みを紹介し合う中で、みどりのかふえにゲスト出演することが決まったそうです。その話を聞いて私たちがびびくりしたのは言うまでもなく、何より嬉しかったのが「ピーアークさんと一緒に活動している方ということで信頼できたから」とお互い言ってくださったことです。

さて、その「スペシャルみどりのかふえ」が5月9日(水)について開催されました！時にかっこよく、時に聴かせるギター&ボイス、そして関西仕込みの楽しいトークで、盛り上がるかどうかドキドキだった私の心配をよそに(ゴメンナサイ！)会場は和気あいあい。2ショット写真をリクエストする参加者もいたほどで、非常に満足度の高い会になりました。改めて、皆さんとの繋がりに感謝と感動を覚えた時間…岡さん、谷元さん、本当にありがとうございました。



つな がる



Episode ② つながる“想い”で走るピーくんバス

ピーくんガーデンと周辺駅を結ぶ無料巡回バス「ピーくんバス」は、使用済みてんぷら油からできた燃料で運行しています。地球環境に優しく、化石燃料の代替として注目されていますし、排ガスからほんのり天ぷらの香りがする可愛らしさが（ホントにするんです！）、ピーくんらしいな～と勝手に思っています(笑)

また、ピーくんバスの運行と合わせて、油回収の拠点としても活動しています。当初は、「わざわざ持ってきてくださる方がいるのだろうか…」と不安が先立ちましたが、「使用済みの油でバスが動くなて！」「捨てるにも大変だし、罪悪感もあったから、回収してくれるととても嬉しい」と喜ばしいお声をたくさん頂き、「もっとたくさんの人に知ってもらったらいいのよ！」とやっていただいたことから、折にふれ回収ステーションのお話をさせていただいています。

地域の節分祭に参加した際にも店舗にほど近いデイサービス施設の方とお会いする機会があり、油回収のお話をさせていただくと「実はすでにデイサービス利用者さんに呼びかけて施設で集めているんです」と言われてビックリ！以前、違う地域イベントに出展した際に掲示していた油回収のご案内を見て大変興味を持ってくださり、皆さんに呼びかけてくれた上、「利用者さんは足が悪い方が多くてピーアークさんまで持って行くのは大変だから」と自分たちの施設で預かってくださっているというのです。『私たちの取り組みを、共感して下さった方がさらに広めてくれている』、こんなに嬉しいことはありません。さらにお話を聞いてみると、たくさんの油が集まり、ピーアークに運ぶのが大変ということでしたので、毎月行っている店舗周辺清掃のコースを変更し、清掃の途中で私たちが施設を訪問し、油を回収することにしました。訪問するまでの期間は、施設で油を回収・保管することになるのでお手間をおかけすることにはなりますが喜んでくださり、私たちの想いに共感して下さるお仲間が増えたことが、これからの活動への励みになっています。

皆さんの想いを乗せて、今日もピーくんバスは元気に運行しています。



1 世界キャラクターさみっとin羽生2017

約360キャラ、約31万人が集まってすごい盛り上がりだったよ！チャリティゲームをやったり、SLに乗ったり、いろんなキャラクターとお友達になれたのも嬉しかったな♪**〇□〇〇〇**に頭を噛まれたのも良い思い出(笑)



ヒントはこちら



3 シードで参加したけど...

前回優勝したマスコット**□〇〇〇〇〇**大会。今回はシード権をもらって参加したけど、負けちゃってくやしー！でも、雨の中たくさんの方が応援に来てくれて嬉しかったな♪次こそはー！！

ヒントはこちら



ピ-くんの

ワードパズル

★ de 活動日記



いつも応援ありがとう！

今回も、ぼくの活動をワードパズルで振り返るよ。

□に入る文字を並べかえると、ある言葉が出てくるよ。すべてひらがなで入れてね。

分からないときはそれぞれの二次元コードを読みこむとヒントが出てくるよ！

2 ぼくのカフェがオープンしたよ♪

北千住駅東口の目の前にP-KUN CAFE(ピーくんカフェ)がオープンしたよー♪ぼくのおすすめメニューは、ぼくの顔が浮かぶ「**□〇〇□〇〇〇〇**」だよ。みんなも遊びに来てねー！

ヒントはこちら



4 鬼はそと～！福はうち～！

□〇〇〇昆沙門天節分会のキャラクター豆まき大会に初参加！みんなのところに上手に投げるのってムズカシイ…。でも、これで悪い鬼さんはみんな逃げていったよ。良い1年でありますように☆

ヒントはこちら



5 ピーくんの楽縁祭

今回のテーマは「世代を繋ぐ」。子どもも大人もおじいちゃんもみんな楽しんでもらって、ぼくも嬉しかったな～。嬉しかったといえば、ケータリングブースで**〇□〇〇**売ってるのをハッケンしたときはワクワクしたな(笑)

ヒントはこちら



6

ムジナもん誕生日会

2月15日はムジナもんのお誕生日！
□○○○○○羽生で開催されたお誕生日会でお祝いしたよ！みんなが用意したプレゼント色紙がどれも素敵だったよね。PRタイムではおめでとうの曲芸をやったよ(笑)

ヒントはこちら



8

意外と運動得意か尼！？

総勢80キャラが参加した「ご当地キャラクター○○○○○○○○□」。ぼくは、綱引きに風船割り、いろんな競技に出たけど、どれも意外と上手にできた気がする！特技に加えようかな(笑)

ヒントはこちら



7

感動！！みんなに感謝を伝える会！

いつも応援してくれるみんなに感謝を伝えるために「感謝の□○○Day」を開催したよ。イベントやるなんて初めてだったからドキドキだったけど、たくさんの人が来てくれて嬉しかったよー(涙) 応援してくれるみんなのために、もっともっと楽しいことやるぞー♪

ヒントはこちら



9

日曜朝は“タッチで、ハッピー！！”

新CM「タッチで、ハッピー！！」編見てくれたかな？みんなで踊ってジャンプして、楽しい映像になったよ！CMを見て、□○曜日からまた元気に頑張ろう！って思ってくれたら嬉しいな♪

CM映像も見てね！



10

約20万人が訪れる日本最大級のフリーマーケット

ピーアーク presents 幕張メッセ“どきどき”フリーマーケット2018が開催されたよ。今年のピーアークブースは「○○○○○□○○○○ランド」。カーリングやターゲットゲーム、フリースローパチンコなど、たくさんのアトラクションにみんな笑顔いっぱい挑戦してくれてありがとです♪

ヒントはこちら



答えは…

□	□	□	□		
□	□	□	□	□	□

※ヒントはP34にあるよ。答えはP35を見てね。

ワクワク



プラバンでピーくんキーホルダーを作ろう！

準備するもの

プラバン / 塗料 (油性マジックやアクリル塗料など) / はさみ
穴あけパンチ / アルミホイル / キーホルダーパーツ / オープントースター
※使用できる塗料はプラバンによって異なるので、使用するプラバンの説明書に従って用意してね！

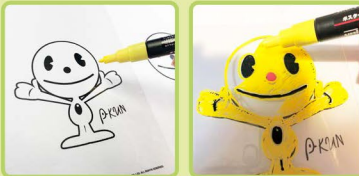
あると便利！

箸 / セロハンテープ / 平らな重し (厚い本など)



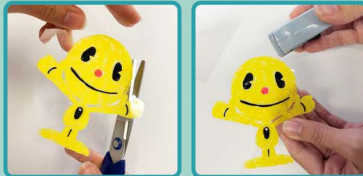
① ピーくんを描こう！

ピーくんイラストの上に透明なプラバンをのせてなぞっていくよ。目や鼻を描いたあと、最後に黄色で塗っていく方がやりやすいよ。



② パンチで穴を開けるのを忘れずに！

塗料が乾いたらイラストに沿って切っていくよ。穴を開ける部分を残して切るのがポイント。最後にパンチで穴を開けてね。



アクセサリー用のイラストを用意したよ。自由に使ってねえ！



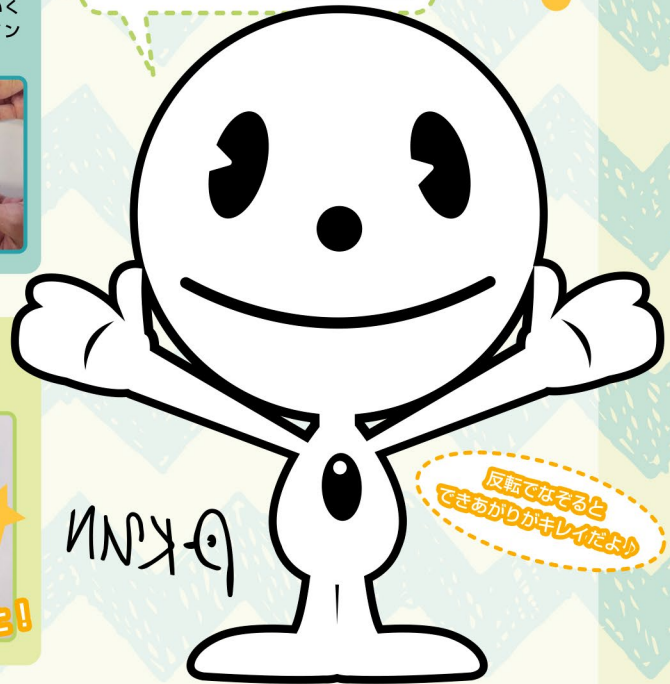
③ 加熱していくよ！

アルミホイルを丸め、しわしわにしたら、その上にプラバンをのせてオープントースターに入れて加熱しよう。反りがえりながら縮んでいくよ。反りが戻って縮みがとまったらスイッチを切ってね。



④ 冷めないうちに！

プラバンを取りだし、冷めないうちに平らなもので押さえて反りを直すよ。



反転でなぞるとできあがりキレイだよ！

キーホルダーパーツを付けたら…完成！
塗料やプラバンの裏表によって質感が変わって楽しいよ！色々試してみよう。



さらにチャレンジ！ピーくんアクセサリー作り！

いろんなパーツを使って、こんなアクセサリーも作ってみよう！

ヘアピン用金具で…

ピアス用金具で…



ピーくんピン！

ピーくんピアス！

2018年2月25日(日)

東京マラソン2018 チャリティランナーとして参加

「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」「認定NPO法人カタリバ」のチャリティランナーとして有志6名が出場しました。全員がフルマラソン初チャレンジ。ランナー決定から約半年間、それぞれに練習を重ね挑んだ42.195kmは、完走以上に得るものが多かったようです。これからも、社訓「創造・挑戦・熱意」のもと、様々なチャレンジをもって世の中を楽しくしていく活動を応援します。



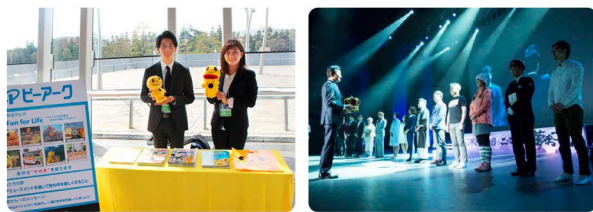
2017年11月～5月

PARK NEWS

2018年2月26日(月)

みんなの夢AWARD8

「みんなをワクワクさせるすてきな夢を紹介し、世界に夢を増やす」という想いに共感し、「みんなの夢AWARD」のサポートも5年目となりました。当日は協賛企業としてブースを出展し、様々な学生や学生団体と交流を行い、新たな可能性を感じる時間となりました。グランプリには「『できないこと』ではなく『できること』にフォーカスできる職場を増やす」という夢を語った尾中友哉さんが選ばれました。



2018年4月1日(日) スタート

新コマースナル テーマは「夕っ手で、ハッピー!!!」

ピーアークにご来店くださるお客様はもちろん、様々なSocial Good活動や企業活動を通してますます広がる人や地域との繋がりが、新しいハッピーを生み出している姿を映像で表現しました。3バージョンともぜひチェックしてください♪



<http://www.p-ark.co.jp/special/cm.html>

2017年度結果報告

1Thank You 1 ワクチン 活動報告

お客様や地域から「ありがとう」を頂いたエピソード1件につき1人分のワクチンをおくる活動です。2017年度は44,208件のエピソードが集まりました。44,208人分のポリオワクチンは、認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会を通じて、世界の子どもたちに届けられます。



2018年4月2日(月)

2018入社式

ピーアーク号に新たな19名のクルーが乗船しました。これからの活躍に期待です。



Fun for Life

読者アンケート

Fun for Life vol.19を最後までお読みいただき、ありがとうございました。
 今後もより充実した誌面をお届けするため、
 皆様のご意見・ご感想をお聞きするアンケートに
 ご協力をお願いいたします。
 アンケートにお答えいただいた方のなかから
 抽選で10名様にプレゼントをお送りいたします。

今回のプレゼントは
 こちら

かわいさいっぱい!
 名付けて ピーくんの福袋
ピくぐる!
(ふ)

ピーくんのトートバッグに
 ピーくんグッズを詰め込んでお届けします!



アンケートのご協力
 お願いします♪

※画像はイメージです。内容は変わることがあります。

アンケートメ切:
 2018年8月26日(日)

アンケートはこちらから→

Fun for Life アンケートURL PCでも下記URLよりアンケート参加が可能です。
<https://ssl.alpha-prm.jp/p-ark.co.jp/quest/form.html>



LINEクリエイターズスタンプにて

ピーくんの
 LINEスタンプ
 できました!



「きいろいぼくの毎日スタンプ」

楽しいこととコロッケパンが大好き!
 そんなぼくの日常を切り取ったゆるカワスタンプができましたあ♪



右の二次元コードまたは「きいろいぼく」で検索!

